



「いぬばり」構想

～日本一ペットと暮らしやすい街へ～

2026年3月22日

チーム：おはよう

上田航 小松崎大世 杉山大樹 高島花音 溝口理子 三好杏那

目次

1. 今治市の課題
2. いぬばり構想
3. なぜ犬なのか
4. 今治の強み
5. 目指すべき姿
6. 施策
7. 先行事例
8. 運営体制
9. 数値目標
10. ロードマップ
11. 5年後の今治
12. ユーザーストーリー



今治との出会いは 夏のインターンシップ

SIMANAMI



01

産業のイメージから脱却できておらず、観光から定住への転換ができていない

年間448万人が今治に来ている
だが転出超過は止まらず、人口は減り続けている

今治市の観光客数推移グラフ



今治市の人口推移グラフ



Why? 「産業のまち」イメージの固定化

足りていないイメージ：「暮らしやすい」「住みたい」「生活の質が高い」



コンセプト

「日本一ペットと暮らしやすい街」今治

- ・ ペットを飼っている人にとって最も暮らしやすい街を目指す
- ・ ペット向けの施策を通じて、今治を「産業のまち」+「ペット飼育者に選ばれるまち」へイメージ転換し、観光から定住への流れを作る



WanMap

ペット同伴施設
マップアプリ



いぬばりステッカー

ペット受入店舗の
認証・設備補助



獣医学生相談ブース

食事、散歩、健康に関する
気軽な相談を受ける場



ペットOKホテル

ペット同伴宿泊施設の
整備・認証



ドッグリロケーション

ペット同伴移住支援
パッケージ

03

なぜ犬を構想の切り口としたのか？

犬との暮らしやすさは、街の暮らしやすさを表す指標になる

犬と入れる飲食店は？

ペット可の物件は？

動物病院はある？

スーパーの買い物は
犬連れでも困らない？

散歩しやすい道は？

犬飼育者が街に求める条件

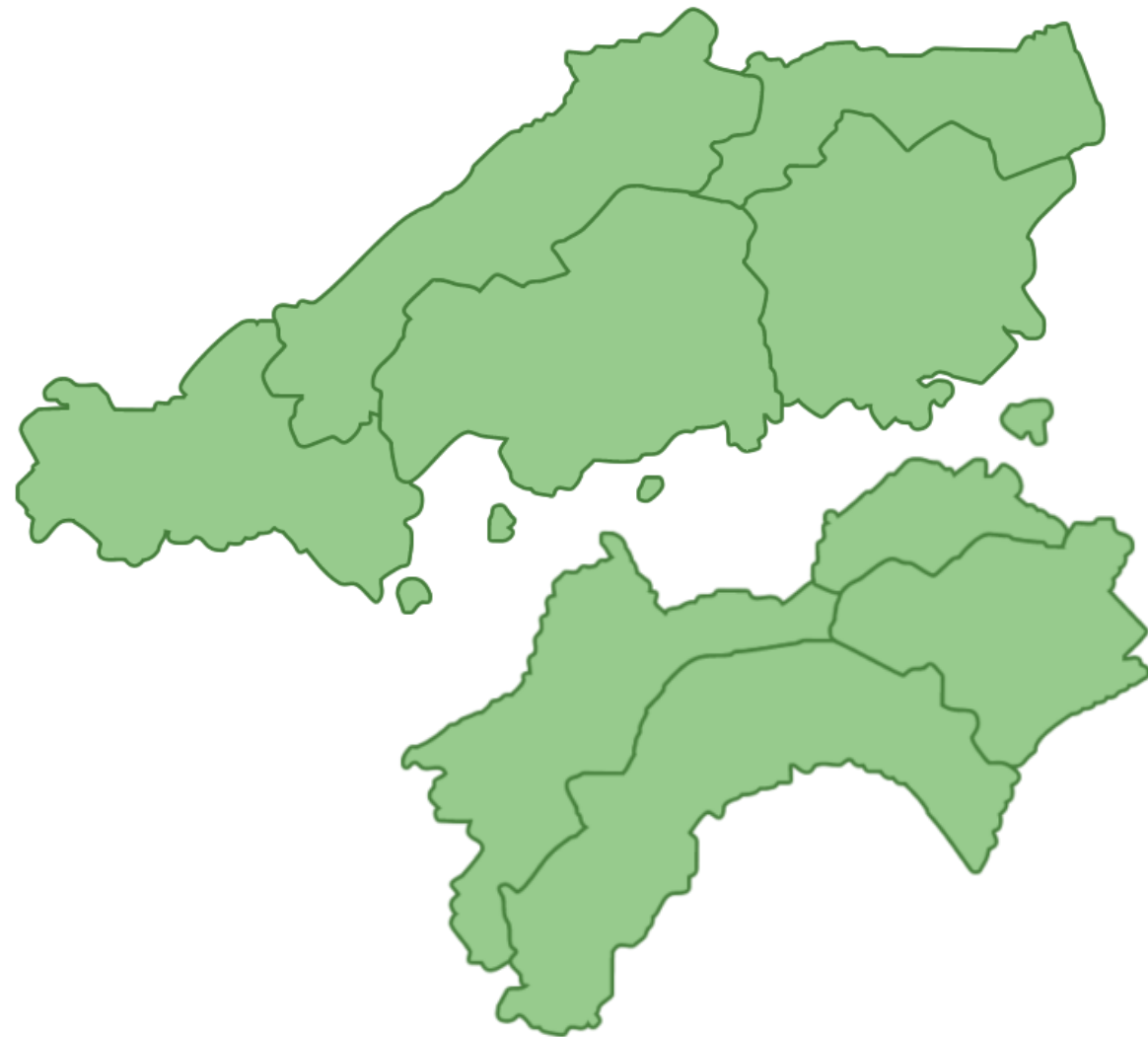
公共空間にマナーの
ルールはある？

犬と暮らしやすいかを考えると、具体的にその街の暮らしやすさが
解像度高く浮かび上がるのでは？

03

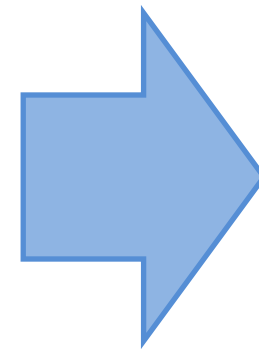
今治周辺における、犬ばり移住ターゲット市場規模は大きい

犬飼育世帯**全国515万**、市場**1.9兆円**、旅行したい飼い主**96%**
需要は大きい**が、受け止めることができる自治体がまだ少ない**



今治にとっての好条件 — ターゲットがすぐ近くにいる

- 四国・中国で40万世帯
- 車で1～2時間圏に集中



すでに人が動いている方向に
ターゲット市場が存在している

04

今治の強み～なぜ今治でできるのか～

ペットを起点とした移住促進を行うにあたり活用できる資産が豊富である

獣医学部がある街



- ・全国で獣医学部をもつ大学は17校のみ
- ・犬との暮らしに専門性が伴う

しまなみ海道と瀬戸内の自然



- ・海沿いの散歩コース
- ・瀬戸内の温暖な気候

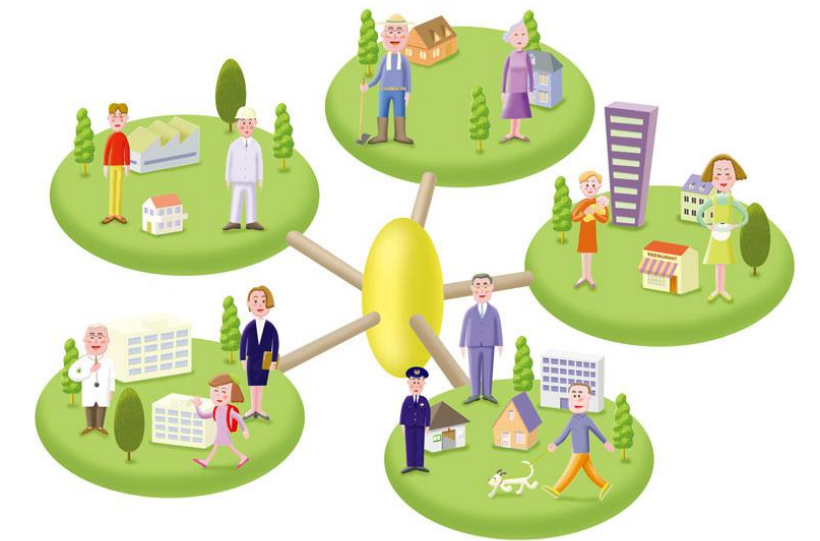
今治タオルとのブランド親和性



imabari towel

- ・ペット用品やグッズとの組み合わせ
- ・認知の立ち上がりを加速できる

先行者がいない市場



- ・自治体ぐるみで「犬と暮らせる町」を設計している例はほぼ存在しない

目指すべき姿「犬と住むなら今治」となるミライ

課題

安心が見えない

生活導線が面として
つながっていない

観光で終わってしまう

いぬばり構想で

・動物病院がどこに
あるかわかる
・夜間に相談できる
先がある

・犬と入れる飲食店が
ある
・スーパーでの買い物に
困らない

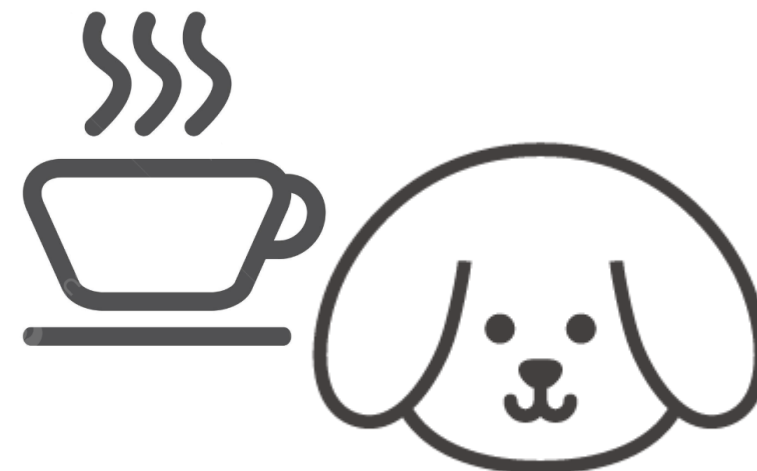
・海や自然の中で犬と
過ごせる
・犬を通じて地域の
人とつながれる

目指すべき姿

安心



日常



豊かさ



06

施策の全体像～観光をフックに移住へ繋げる～

まずは観光地として受け入れる体制を作り、徐々に犬にとっても、人にとっても住みやすい街への転換を図る

受入基盤 体制整備

- ① 動物病院・緊急時連絡先・相談窓口の可視化
- ② 犬同伴可の飲食店・店舗の認証制度
- ③ スーパーや日用品購入導線の把握とWanMapへの掲載
- ④ 足洗い場・給水ポイント・マナー掲示など公共空間整備



誘客と SNS拡散

- ① WanMapをデジタルガイドとして整備
- ② 犬と「撮りたくなる場所」を導線として整理し、#いぬばりに繋げる
- ③ 犬連れ歓迎イベントの実施



リピーター の移住

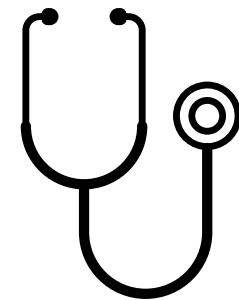
- 犬ばり暮らし体験プログラム
- ドッグリロケーションパッケージ支援



駅周辺の小さなエリアで「犬と安心して過ごせる導線」を成立させる

整備する4項目

1



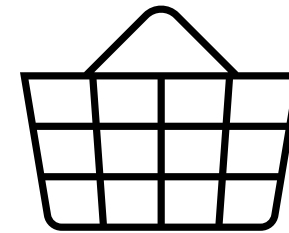
動物病院
緊急時連絡先
相談窓口の可視化

2



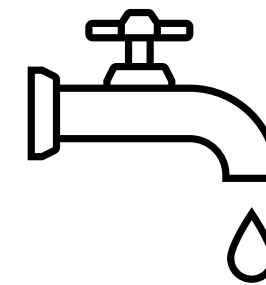
犬同伴可の
飲食店・店舗の
認証制度

3



スーパーや日用品
購入導線の
把握と掲載

4

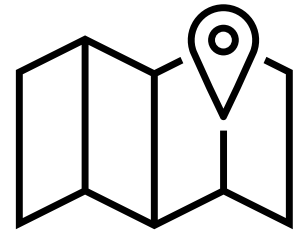


足洗い場
給水ポイント
マナー掲示の
公共空間整備

行政の広報より、犬好きの友人が投稿する1枚の写真を
→来訪者に「発信者」になってもらう

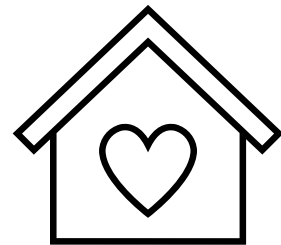
実施内容

1



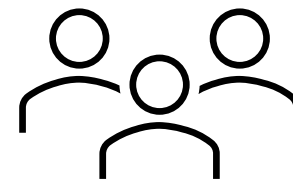
WanMapを
デジタルガイド
として整備

2



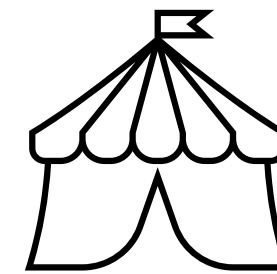
犬と「撮りたく
なる場所」を
導線として整理

3



獣医学生の
相談ブースを
来訪者との
接点にする

4



初年度に
犬連れ来訪
イベントを実施

すでにペットツーリズムの先行事例はあり、 成功モデル×今治で独自の犬ばり構想を実現していく

「ステッカー＋マップ＋マナー周知」
この3つだけで犬連れの来訪導線はつくれる

群馬県富岡市 (初年度モデル)

「ステッカー＋マップ」
で見える化

成果:

開始1年で来場ペット
1,111匹
2024年度は年間3,000名
超がペット同伴で来訪

鳥取県 (推進体制モデル)

「協議会＋公民連携」
で推進体制をつくる

成果:

事業終了後もHP・マナー啓
発が継続
自走化の道筋が見えている

長野県軽井沢町 (5年後の目標モデル)

「マップ＋ステッカー＋
マナー啓発」
でブランド確立

成果:

全国で「犬連れ観光＝軽井
沢」というブランドポジ
ションを確立

今治 = 富岡の手法 × 鳥取の体制 × 今治の独自性 (獣医学部＋しまなみ海道)

今治市を筆頭に、各事業者や大学と協力しながら行う

今治市

- ・ 認証制度の設計と運用
- ・ 公共空間の整備（足洗い場・給水ポイント・マナー掲示）
- ・ 広報
- ・ 関係者間の協議会運営
- ・ 将来的には移住相談窓口の運営、空き家バンクとの接続

岡山理科大学獣医学部

- ・ 認証制度の衛生基準を監修
- ・ 来訪者向けの健康相談・マナー啓発
- ・ 受入事業者への改善提案
- ・ 実証データの整理と報告

地元事業者

- ・ 認証の取得と受入環境の改善
- ・ 宿泊・飲食の提供
- ・ 物件見学や地域交流の受入
- ・ 保険加入、安全管理の責任

チームおはよう

- ・ WanMapの開発と運営
- ・ 申込導線の設計
- ・ デジタル広報とSNS戦略

初年度は「何人来たか」と「何人がシェアしたか」に集中する

指標	1年目	2~3年目	4~5年目
認証事業者数	30	80→150	市内全域へ拡大
WanMap掲載地点	100	250→400	標準インフラ化
犬連れ来訪者数	5,000人	12,000→20,000人	定常的な来訪
SNS投稿（#いぬばり）	3,000件	10,000→25,000件	自走する認知
再訪者数	1,000人	3,000→5,000人	関係人口の厚み
暮らし体験	—	50→150組	定期プログラム化
移住（累計）	—	10→30世帯	毎年自然発生

Phase 1 (1年目)

地域浸透

「いぬばり」宣言

- ・ 駅周辺で受け入れ基盤を実証
- ・ WanMapリリース
- ・ SNS拡散の仕掛けづくり
- ・ 獣医学部学生相談ブースの試行

認知3万世帯、来訪5,000人、移住10世帯

参考事例：富岡市
(ステッカー+マップで即成立)

Phase 2 (2~3年目)

商圈拡大

リピーターを育てる

- ・ モデルを沿岸部・主要観光導線へ拡張
- ・ 認証事業者: 80→150
- WanMap掲載: 250→400
- ・ リピーター向けに暮らし体験プログラムを開始

認知7万世帯、来訪1.2万人、リピーター1,500人、移住40世帯

Phase 3 (4~5年目)

ブランド確立

「いぬばり」定着

- ・ 島しょ部・しまなみ周遊と連携強化
- ・ 移住伴走パッケージの本格化
- ・ 移住者コミュニティ形成、口コミ拡散

認知10万世帯、来訪2万人、リピーター5,000人、移住100世帯

参考事例：軽井沢
(10年かけたブランド確立)

「犬と住むなら今治」という未来へ



犬と暮らすことが「今治を選ぶ理由」になっている
観光で始まったものが、暮らしの循環に変わっている

朝の海沿い散歩

犬飼育者同士のコミュニティ

認証カフェでの
コーヒータイム



想定しているユーザーストーリー

STEP. 1

認知

「いぬばり」を知る

友人のInstagramから今治の海沿いを犬と歩く写真が流れてくる「#いぬばり」

STEP. 2

初回来訪

週末に来てみる

駅周辺の認証ステッカーの店で犬と一緒にランチ
散歩コースにはマナー掲示と給水ポイント

STEP. 3

リピーター

今治が「行く場所」から「通う場所」に

今度は島まで足を延ばし、海沿いを犬とゆっくり歩く
認証カフェの店主と顔見知り

STEP. 4

移住

「住んでもいいかも」

WanMapから「暮らし体験プログラム」の案内が届く
2泊3日で散歩コースやペット可物件を訪れる

STEP. 5

定住

今治で、大切なかぞくとともに



さいごに

いぬばり構想は、犬との暮らしやすさを入口に
今治を「産業のまち」から「暮らしの質で選ばれるまち」へ変える、そんな構想です。

駅周辺から愛媛全体、そして全国に広げ、

「犬と暮らすなら今治」をこの街の日常にします。

私たちと一緒に、いぬばり構想に挑戦してみませんか？

チームおはよう



いぬばりで
今治に新たな価値を。

SIMANAMI

A group of six people (three men and three women) are posing on large, light-colored concrete letters that spell out 'SIMANAMI'. They are standing on a paved area overlooking a body of water. In the background, the Simanami Suspension Bridge spans across the water, with its tall, white, A-frame towers and suspension cables clearly visible. The sky is a clear, pale blue, and the overall scene is bright and scenic.